

苅南ねっと



苅南校区教育協議会
はぐくみねっと事務局
苅南小学校内
71号 令和7年7月発行

学級や学校、家族の一員として働く

苅南小学校長 撫 俊男

近畿では6月27日(金)に早々と梅雨明けが発表されました。過去最速の梅雨明けだそうです。それ以降、連日のように猛暑が続いていますが、そんな中、プールや中庭の芝生、砂場で水遊びをする1年生の元気な姿もあり、それらを見るにつけて、豊かな感性が磨かれていくことを期待してやみません。

さて、本校では、子どもが係や当番活動、学校行事などで目標や役割を持ち、活躍できる体験の場を増やすことが大切であるとの考え方のもと、教育活動を進めています。子どもの頑張りを見逃さずに認めたりほめたりすることで、自分が人の役に立っているという気持ちが高まり、自分に存在価値を感じるのであります。



「苅南フェスタ」のお店でカードにスタンプを押す受付係の児童

裏面に記載の「苅南フェスタ」は、児童会主催の年に一度のお祭りで、上記の目的を達成するのに、たいへん意義ある行事です。いかに楽しいお店にするのか、一人ひとりに与えられた役割は、どれもなくてはならないものです。遊びの用具等の準備や場所のレイアウト、受付、遊び方の説明など、

皆、真剣そのものです。アイデアいっぱいの手作りの用具、マスからはみ出ないようにとカードに丁寧にスタンプを押す受付係、国語の学習時間かと思うほどはきはきと話す説明係など…。「お客様が楽しめるように」との明白な相手意識と目的意識があり、そこに向かって一人ひとりが責任をもって役割を果たそうとしているのです。そして、たくさんのお客さんが楽しんでいる姿や感謝の言葉で、自分が貢献できることを実感として味わえるのです。

この夏は、ご家庭で、ぜひ「お手伝い」をたくさんさせていただきたいと思います。お子さんと話し合いながら、どのようなお手伝いであっても、お子さん自身が最終決定したお手伝いを可能な範囲で取り組めるようにしていきましょう。お子さんがするお手伝いは、時間がかかるかもしれません、家族のためにしているという気持ちを大切にしたいです。ですから、子どもがお手伝いをしたら、必ず「ありがとう」「おかげで助かった」などの言葉を伝えてください。

親からほめられたり、認められたりすることで、お子さんは達成感を覚え、次のお手伝いへのやる気が出るとともに、家族の一員として自分の存在が尊重され、「家族にとって自分は役に立っている」という実感がもてます。そして、自分に自信がもてるようになります。

最後になりましたが、保護者のみなさま、地域のみなさまには、1学期の間、学校教育へのご理解・ご支援をいただき、本当にありがとうございました。これからも暑い日が続きます。どうかご健勝にてお過ごしください。

5年野外活動(6/11~12)

6月11日(水)、12日(木)の二日間、5年生は野外活動を行いました。場所は大阪府立青少年海洋センター。昨年は両日共に30度を超える暑さでしたが、今年は梅雨時期らしい、雨の中での活動となりました。



2日目。6時45分に起床した子どもたちは、朝の集いと朝食を済ませた後、今回のメインである「カッター活動」に挑みました。「カッター」とは、救命用の手漕ぎボートのこと、全員で息を合わせて漕ぐ必要があり、チームワークの育成には最適です。1組、2組に分かれて乗艇し、みんなで協力しながら目的地へと漕ぎ進んでいきました。終了後は昼食や館内クイズラリーで過ごし、14時前に宿舎を出発して15時頃、無事学校へ到着しました。この二日間がとても充実して時間であったことが子どもたちの表情によく表っていました。

この野外活動を通して、ますます絆を深めた5年生「だんご38兄弟」。これからに期待です！



1日目は「いかだ体験」からのスタート。最初に木とゴムチューブを組み合わせたいかだを5人一組で組み立てました。次に、完成したいかだをパドルで漕ぎながら、浅瀬を進んでいきました。昼食後、午後からは「カヌー体験」をしました。子どもたちは、カヌー艇を二人一組で漕ぎ進み、徐々に海上での活動に慣れていました。その後、浜遊びやキャンドルサービスなどの活動を経て、1日目が終了しました。



春の遠足 in 関西万博



今年は、日本では20年ぶり、大阪では55年ぶりとなる「日本国際博覧会（通称：大阪・関西万博）」が、10月まで大阪市の「夢洲」で行われています。苅田南小学校では、その貴重な機会をぜひ子どもたちに体験してほしいということで、全学年、春の遠足として万博に行くこととなりました。

最初は、5月8日(木)に、1年生と5年生が万博を見学しました。本来の遠足とは違って、貸切バス2台で会場へ向かいました。約30分ほどで会場へ到着し、約4時間の滞在で各パビリオンやブースを見学しました。

会場内では1年生と5年生は別行動で、1年生は未来の都市のパビリオンを見たり、大屋根リングの上を歩いたりして楽しみました。一方、5年生は、「関西パビリオン」の見学の他、外国のパビリオンを中心に回りました。

5月22日(木)には4年生が万博を見学しました。

前日からの大雨で天候が心配されましたが、出発時には天候も回復し、雨を気にすることもなく万博を楽しむことができました。

会場では「未来の都市」パビリオンでのシアター鑑賞や各パビリオンの見学、大屋根リングの散策等で万博の雰囲気を十分に味わうことができました。



2年生は6月17日(火)に万博へ。梅雨時期とは思えないような暑さの中、子どもたちは数か所のパビリオンを見学し、大屋根リングを歩きました。外国の方と交流する姿も見られ、世界のことを知るきっかけとなったことでしょう。



6月19日(木)は、6年生が万博へ行きました。厳しい暑さの中、午前中を中心に行き、パビリオンを見学しました。特に、人気パビリオンの「ノモの国」は、五感を刺激する体験と自分だけの冒険が楽しめる参加型の演出が子どもたちには大好評でした。



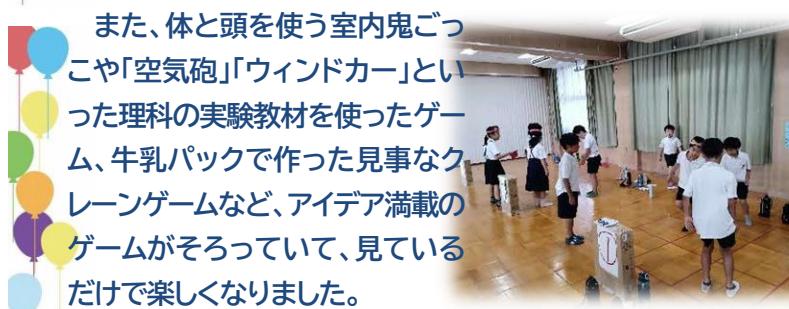
最後は3年生が6月30日(月)に行きました。梅雨明け後の真夏日となりましたが、子どもたちは朝から元気に外国パビリオンを数か所回ることができました。最後はミャクミャクの前で記念撮影と、万博をめいっぱい楽しみました！

苅南フェスタ(7/1)

年に一度の苅南小学校のお祭りである「苅南フェスタ」が7月1日(火)に行われました。各学級で楽しいお店を考え、縦割り班(なかよし班)のグループで回るこの行事は、毎年、子どもたちに大好評です。



今年もユニークなお店が勢ぞろいしました。中でも、注目だったのが「先生めくり」。先生たちの写真が貼ってあるカードをトランプの「神経衰弱」のようにめくっていくという斬新なアイデアにとても驚きました。



また、体と頭を使う室内鬼ごっこや「空気砲」「ウィンドカー」といった理科の実験教材を使ったゲーム、牛乳パックで作った見事なクレーンゲームなど、アイデア満載のゲームがそろっていて、見ているだけで楽しくなりました。

そして、お店を回っているときの子どもたちの様子が本当に楽しそうで、それに加えて、店番に取り組んでいるときのがんばっている姿がとても素晴らしい、見ていてとても嬉しくなりました。来年はどんな楽しいお店が出るのか、今から待ち遠しいです。

生き物さがし(4年 5/23)

5月23日(金)、大阪市環境局主催の出前授業が4年生対象に行われました。

テーマは「小学校での生き物探し」。校内に何種類ほどの生き物が生息しているのかを春と秋の2回に分けて調査します。

子どもたちは4つのグループに分かれて、講師の方の引率のもと、中庭や学習園などで虫や草花などの生き物を探しました。特に、講師の方々の生き物に関する知識が豊富で、各グループが集めてきた数十種類の生き物の名前すべてが分かったことには驚きました。この授業では、時々、新種が発見されることがあるそうで、今回の調査で新たな生き物が発見されるかもしれませんね。

「夢は、叶うまでやり続けることが大切である」。6月5日(木)に5年生が「トップアスリート・夢授業」を行いました。今回の競技は、昨年度に引き続き「ダブルダッチ」で、元世界王者チームの方々に講師として指導していただきました。

子どもたちは、ダブルダッチの簡単な知識を学んだ後、実技指導に移りました。ロープへの入り方や跳び方、抜け方などの基本的な技から始まり、最後はみんなで連続跳びに挑戦できるまで上手く跳べるようになりました。

一方で、今回は、ターナー(ロープを回す人)にも挑戦しましたがほとんどの子が思うように回せず、悪戦苦闘！2本のロープを操るダブルダッチの難しさを実感しました。

日本のダブルダッチは現在、世界のトップを走り続けています。そんな中、今回の授業がきっかけで競技を始め、後に世界を制する子が現れるかもしれませんね。

夢授業(5年 6/5)